

山口県

山口県退職校長会

結成 昭和44年7月

山口県退職校長会は、昭和44年7月に、わずか28名の会員で発足した。その後、組織も充実し、会員の加入率も高く、今や会員数約2,000名の組織へと発展してきた。

本会は、今年、結成45周年の記念すべき年を迎えた。この節目の年に当たって、会の目的を再認識し、会員の生きがいづくりとなる地域の教育振興に関する活動や、福利厚生に関する活動に積極的に取り組み、山口県の教育尊重の風土をさらに高めることに尽くすとともに、会員相互の連携・協力・交流を一層深めることとした。

平成26年度は、「地域に向かって行動し、会員の生きがいを支援する退職校長会」の共通課題のもと、次のような活動を行っている。

1 地域活動に積極的に参加し、生涯現役社会づくりを通して支部活動の活性化に努める。

各支部では、「ふるさと掘り起こし隊」「松陰を学ぶ会」「人づくりを考える会」など、地域に根ざした様々な活動に積極的に取り組んでいる。また会員の趣味や特技を生かした楽しい会も多い。支部活動を盛んにし、定着させるために、グループ助成事業を行っているが、今年度は25グループが助成の対象となっている。

2 福利厚生活動を充実し、会員の生きがいを支援する。

生涯学習作品展、囲碁大会、ゴルフコンペ、ふるさと散歩等、活動も多彩である。また会員は楽しみにしており参加者も多い。本年第18回となる「ふるさと散歩」は、開催支部みんなが協力し合い、「おもてなしの心」で県内各地からの参加者を迎え案内した。さわやかな秋晴れのもと、和やかに交流を深め、楽しい1日を過ごすことができた。

3 他団体との連携や協働による研修活動や教育支援活動に努める。

県知事・県教育長を来賓としてお迎えし、結成45周年記念大会を開催した。教育長講話、2支部による実践発表、健康体操、記念講演が行われ充実した記念大会となった。

各支部では、学習支援、子どもの見守り隊、コミュニティスクール支援、福祉施設訪問等、学校支援活動や地域ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。今後も活動をさらに広げ、学校や地域に貢献したいという気運が高まっている。

4 広報等による情報発信に努め会員相互の交流とメンバーシップを深める。

「会報」を年間3回発行し、情報発信に努めている。特に支部活動や会員の活動の様子、会員の声等、県下広く執筆を依頼している。10月発行の第101号では20支部の活動状況を調査し報告した。また75%の支部がそれぞれ「支部だより」を発行している。支部の活動は、「写真で見る支部活動」として総会会場に展示し、紹介している。



全国有数の生産量を誇る石灰石の採掘場(美祢市)